

岩手県職労

号外

昭和34年4月1日

第3種郵便物認可

定価1部2円

発行所

盛岡市内丸10番1号

岩手県庁内

No.2279

2014年

2月20日

本日は、14春闘の全国統一行動日。分会内での職場課題の討論などを通じて春闘へ結集しよう。

春闘情報⑦

人事院総裁あて「要請署名」空欄をなくそう！

給与制度の総合的見直し反対！！

地方切捨て 地方公務員狙い撃ちの賃下げを許すな

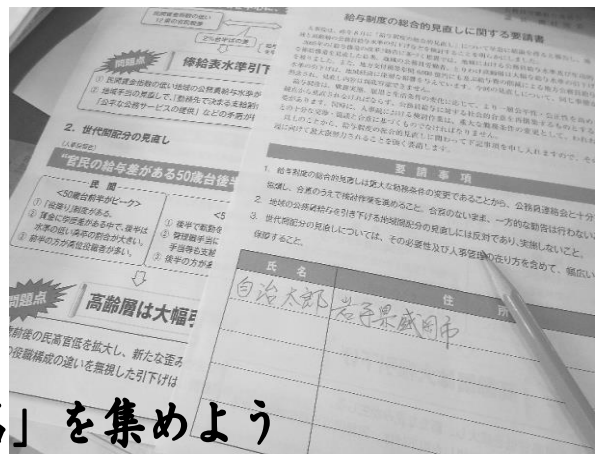
県職労は、政府・人事院がもくろむ「給与制度の総合的見直し」に反対する行動として、人事院総裁あての「要請署名」を取り組んでいる。地方切捨てと地方公務員を狙い撃ちした賃下げ攻撃への怒りを、私たち地方から訴えていくため、支部・分会での学習会等と呼びかけながら署名を集約していますが、今月初めの第1次集約時点では、空欄のある署名も提出されている。

集約した署名は、3月5日の北海道東北ブロックの上京行動(県職労からも2人参加予定)において、人事院へ直接届けることとしている。

安倍自民党政府の言いなりで、更なる公務員給与の抑制検討を行おうとしている人事院の動きにストップをかけるため、もう一度、職場内や家族、知人への声かけを行い、1人5筆の署名を集めきろう。

こんな問題だらけの見直しを許すわけにいかない！

- ◆ 地域間配分見直し・・・民間給与の低い県を恣意的に選んでの水準比較。2%半ばの賃下げか？
- ◆ 世代間配分見直し・・・高齢層は、更に引き下げ幅を大きく!?
- ◆ 技能労務職員給与の見直し・・・非正規雇用の多い民間の自動車運転手と比較。上記見直しとあわせ、現業職員はトリプルパンチ！
- ◆ 行政サービスに地域差が生じないよう頑張っても、給与は地域で差が出る。同一価値労働同一賃金の原則を真っ向から否定。地方切捨て、地方公務員狙い撃ちの賃下げ攻撃。



だから…1人5筆の「要請署名」を集めよう

働く者の代表を地方議会へ

佐藤 いくお さん 奥州市議会議員選挙
北村 進 さん 宮古市議会議員選挙

推薦決定

県職労は、2月8日の中央執行委員会で、奥州市議会議員選挙(3月2日告示・9日投開票)に立候補予定の「佐藤いくお」さん(自治労奥州市職労出身・自治労県本部組織内)と、宮古市議会議員選挙(4月9日告示・16日投開票)に立候補予定の「北村進」さん(岩教組出身)の推薦を決定した。

二人とも、働く者や弱い立場の人たちの視点に立った政策を掲げているほか、公務員労働者としての経験から、地方自治をないがしろにして中央集権的姿勢を続ける安倍政権に対して、地方議会から声をあげていくとしており、公務員給与の一方的な切り下げ姿勢にも反対の考えを示して2期目に挑戦する。また、これまでも地方労センターの取り組みなどを通じて、私たち県職労との意見交換も続けており、安心して働き生活できる職場や地域の実現に向け、県職労として、お二人の必勝へ、しっかりと取り組んでいく。家族や知人・友人などへ、佐藤いくおさん、北村進さんの紹介の輪を拡げていこう。

佐藤 いくお

奥州市議会議員候補予定者

1947年生まれ 65歳



1966年に江刺市役所(当時)に入職。2008年に奥州市総務部長を最後に退職。2010年3月の奥州市議選に立候補し当選(現在1期目)。

市職員時代には、江刺市職労執行委員長や連合岩手胆江地域協議会議長などを歴任し、労働組合活動でも役員として活躍した。

北村 進

宮古市議会議員候補予定者

1960年生まれ 53歳



講師・教員として宮古市や岩泉町で小学校に勤務し、2010年12月に退職。翌年4月の宮古市議選に立候補し当選(現在1期目)。

岩教組下閉伊支部では14年にわたり役員として活躍。うち3年間は専従書記長として、地方労運動とともに活動の中心を担った。

参加者募集

2014年「原発のない福島を！県民大集会」

とき **2014年3月8日 13時**
ところ **福島県教育会館**

福島第1原発事故から間もなく3年。今もなお15万人もの福島県民が避難生活を余儀なくされている。
原発いらない！の声を、福島から発信していこう。

当日は、8時30分(マリオス前)発のバスで、途中、花巻・北上・水沢・一関の各ICに寄りながら福島へ向かいます。参加申し込み及び日程詳細等は、お近くの県職労書記局へお問い合わせください。